

# コモディティ市場

作成日：2012年4月24日  
作成者：岡橋雅雄

## 【コモディティ概況】 米中景気への懸念、欧州債務問題の再燃で、総じて下落。

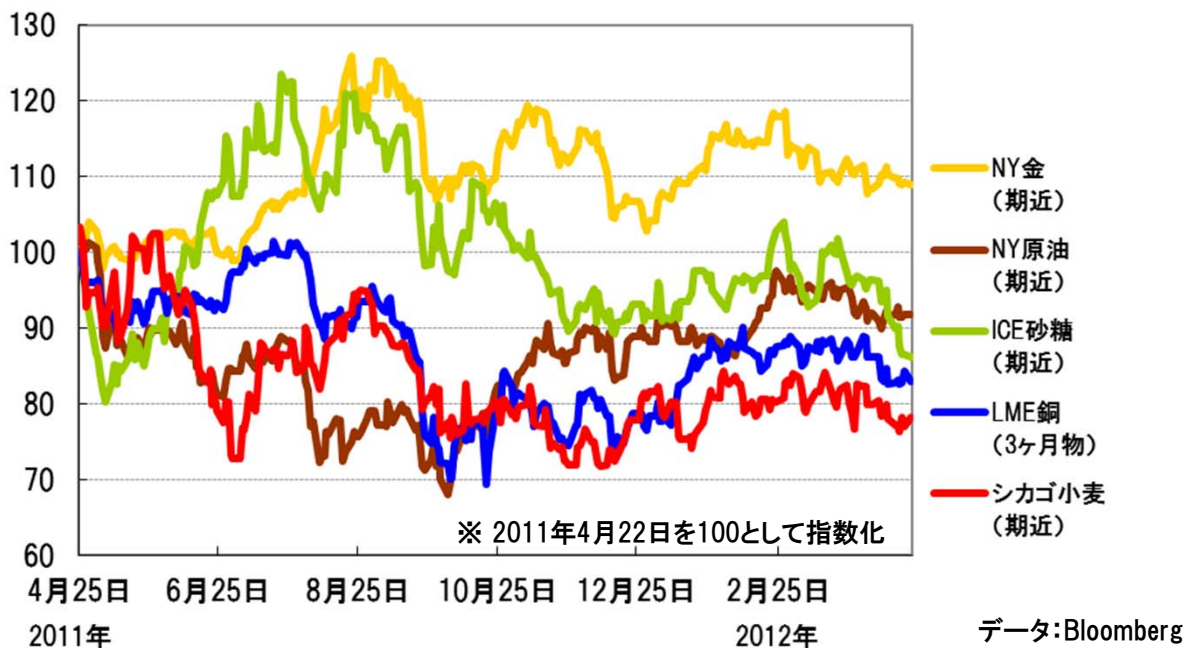
米国雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが事前予想を下回ったことや、中国の実質GDP成長率のスローダウンなどが市場で弱材料視され、4月のコモディティ市況は総じて下落となりました。イタリアやスペインの国債利回り上昇（価格は下落）で欧州債務問題に対する警戒感が高まり、投資家のリスク許容度が低下したことに加え、米ドルがユーロなど主要通貨（円を除く）に対して上昇したことも嫌気され、大豆や鉛など一部を除き、主要コモディティが軒並み前月末比で下落する結果となりました。

### ■主要コモディティの騰落率（2012年4月23日現在、前月末比）

	騰落率		騰落率
原油<WTI> (NY)	-0.4%	金 (NY)	-2.1%
ガソリン (NY)	-3.3%	小麦 (シカゴ)	-6.2%
天然ガス (NY)	-6.4%	大豆 (シカゴ)	+2.2%
銅 (LME)	-4.7%	砂糖 (NY)	-9.6%
アルミニウム (LME)	-3.2%		

データ：Bloomberg 先物指標限月終値を用いて算出。

### ■主要コモディティの価格推移（2011年4月22日～2012年4月23日）



## 【主要コモディティの状況】 2012年4月1日～4月23日

### ●エネルギー関連コモディティ

原油(WTI)が小幅に下落しました。イランの核問題協議への参加合意を受けた供給懸念の後退や、中国や欧州地域の景気減速などが弱材料視され一時大きく下落しましたが、その後、米国内陸部からガルフ湾岸方向へのパイプライン稼働で、米国内陸部の余剰在庫が減少するとの観測が高まり、下げ幅を縮小する動きとなりました。

### ●金属関連コモディティ

＜貴金属＞金が下落しました。米国の追加量的緩和導入の不透明感や、中国及びインドの景気減速による宝飾需要鈍化に対する懸念、欧州債務問題に対する警戒感を受けた投資家のリスク資産縮小の動きなどを弱気要因に、金は軟調推移となりました。

＜産業金属＞銅が下落しました。上海先物取引所指定倉庫在庫の増加や、中国及び欧州の景気減速による需要の鈍化懸念が相場を圧迫したことで、銅は下落する結果となりました。

### ●農産物関連コモディティ

＜穀物＞小麦が下落し、大豆が上昇しました。中国やオーストラリア、欧州地域の増産による世界需給の緩和を弱材料に小麦が下落した一方、大豆は、3月末の統計で米国の大豆作付意向面積が予想を下回ったことや、米国農務省需給見通しでの世界年度末在庫の下方修正などを強気要因に、堅調推移となりました。

＜ソフト＞砂糖が大幅に下落しました。主要砂糖生産国のブラジルとインドの生産増加で世界需給が大きく緩和されるとの観測や、米ドルの対ユーロでの上昇などを弱材料に、砂糖は下落となりました。

## 【今後の見通し】

欧州債務問題への警戒感や、中国及び欧州の景気減速懸念が引き続き弱材料視され、コモディティ市況は総じて軟調に推移すると思われます。主要銘柄のNY原油では、1バレルあたり90ドル台後半への下落を、金では1トロイオンスあたり1,600ドル前後でのみみ合い推移を予想しております。

## 【 注 意 事 項 】

- 当資料は、情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、キャピタルアセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは示唆するものではありません。